

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月14日

## 【評価実施概要】

|       |  |       |            |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0173800582                                 |       |            |
| 法人名   | 有限会社 ライフケア                                 |       |            |
| 事業所名  | グループホーム ひまわり                               |       |            |
| 所在地   | 日高郡新ひだか町静内旭町1丁目30番29号<br>(電話) 0146-43-3388 |       |            |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス                           |       |            |
| 所在地   | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階                     |       |            |
| 訪問調査日 | 平成22年2月10日                                 | 評価確定日 | 平成22年3月30日 |

【情報提供票より】 (平成 22年1月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                 |                       |       |
|-------|-----------------|-----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成 16 年 8 月 1 日 |                       |       |
| ユニット数 | 2 ユニット          | 利用定員数計                | 18 人  |
| 職員数   | 22 人            | 常勤 11人, 非常勤 11人, 常勤換算 | 16.8人 |

### (2) 建物概要

|      |           |       |
|------|-----------|-------|
| 建物構造 | 木造モルタル 造り |       |
|      | 1 階建ての    | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |   |                |                                      |   |
|---------------------|---|----------------|--------------------------------------|---|
| 家賃(平均月額)            | 35,000円   | その他の経費(月額)     | 光熱水費 13,000円<br>暖房費(11~4月) 10,000円   |   |
| 敷金                  | 有(円)・ <input checked="" type="radio"/> 無        |                |                                      |   |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | <input checked="" type="radio"/> (50,000円)<br>無 | 有りの場合<br>償却の有無 | <input checked="" type="radio"/> / 無 |   |
| 食材料費                | 朝食  | 円              | 昼食                                   | 円 |
|                     | 夕食  | 円              | おやつ                                  | 円 |
|                     | または1日当たり 1,300 円                                |                |                                      |   |

### (4) 利用者の概要 (2月10日現在)

|       |          |      |     |    |      |
|-------|----------|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 18名      | 男性   | 3名  | 女性 | 15名  |
| 要介護1  | 4名       | 要介護2 | 3名  |    |      |
| 要介護3  | 8名       | 要介護4 | 0名  |    |      |
| 要介護5  | 3名       | 要支援2 | 0名  |    |      |
| 年齢    | 平均 87.1歳 | 最低   | 81歳 | 最高 | 103歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |              |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | 山田クリニック、平野歯科 |
|---------|--------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、利用者の心身の状態に合わせた介護型と生活型のユニットを開設し、5年が経過しています。81歳から103歳の利用者が職員の手厚い支援の下、ゆったりと穏やかに暮らしています。医師でもある運営者の家庭的な環境の下で支援をとの思いを職員は共有し、利用者の笑顔をみたいと日夜自己研鑽している姿に家族から「これだけ優秀なスタッフは、何処の施設にもいないのではないか」との言葉をいただいています。地域の方々との交流も深まりつつある中、さらに質の向上を目指しています。

## 【重点項目への取組状況】

|      |   |   |
|------|---|---|
| 重点項目 | ① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>改善課題である、自己評価への職員評価の反映、運営推進会議への家族の参加呼びかけや議題の充実に関しては改善されていますが、災害時の地域との連携は継続しての課題としています。<br>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>今回の自己評価は、評価を実施する理解に努め、項目を分担して職員全員の評価を集約し纏めています。振り返りでの課題は職員の共有とし、改善に向け検討しています。 |
|      | ② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>柔軟なメンバー構成の下、2ヵ月毎に会議を開催しています。ホームの現状報告に加え毎回テーマを設定し、虐待や成年後見人制度などの勉強会を実施しています。外部評価に於ける課題への助言をいただくなど、ホームの向上に繋がっています。   |
| 重点項目 | ③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>家族の意見や要望は、意見箱の設置や内・外の苦情相談窓口の案内、家族の来訪時での会話から把握しています。課題は連絡帳に記録し、職員の共有としています。職員は自分の家族に置き換え、課題に向けた具体策に取り組んでいます。  |
| 重点項目 | ④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>職員と利用者は、地域や町内会の行事(講演会、音楽会、秋祭、敬老会、資源回収)に見学や参加をしています。ホームの忘年会に独居の方々を招待し交流を楽しんだり、利用者の知人やボランティアの訪問など、年々地域の方々とは繋がりを密にしています。   |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |      |   |   |                      |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |   |   |                      |                                   |
| 1                            | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 住み慣れた地域で、その人らしく暮らす意義を盛り込んだ経営理念、介護理念は基より、7箇条からなる職員の心構えを念頭に、職員全員で日々ケアサービスに取り組んでいます。                                       |                      |                                   |
| 2                            | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 管理者と職員は、ホーム内に理念を掲げ、実践の確認に努めています。さらに、会議や勉強会、日常業務でも、理念に沿ったケアサービスのあり方を再認識しています。  |                      |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |   |                      |                                   |
| 3                            | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 職員と利用者は、地域や町内会の行事（講演会、音楽会、秋祭、敬老会、資源回収）に見学や参加をしています。ホームの忘年会に独居の方々を招待し交流を楽しんだり、利用者の知人やボランティアの訪問など、年ごとに地域の方々とは繋がりを密にしています。 |                      |                                   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |   |                      |                                   |
| 4                            | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 職員全員は自己・外部評価を実施する意義の理解に努め、項目を分担し各自が評価をしました。集約した結果を検討しまとめています。自己・外部の評価で表出された課題は職員の共有とし、改善に向けた具体策を話し合い、対応過程は記録に残しています。    |                      |                                   |

新ひだか町 グループホーム ひまわり

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 会議は住民代表、家族、行政担当者、職員で構成され、2ヵ月毎に開催し、ホームの現状報告や毎回テーマを決め、虐待や成年後見人制度などの勉強会の実施、外部評価の課題である地域との関わり、避難訓練への助言をいただき、ホームの向上に繋がっています。 |                      |                                   |
| 6                      | 9    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 行政の担当者とは、日高広域連合の会議や市町村窓口、電話やホーム訪問時で運営に向けての課題に助言をいただいたり、情報交換を行なうなど、サービスの質の向上に努めています。                                     |                      |                                   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |                                   |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | ホームでの暮らしぶりは、写真を掲載した「ひまわり便り」で報告しています。利用者一人ひとりの心身の状態は担当職員から伝え、各月交互に郵送し、家族の安心に繋がっています。さらに、家族の来訪時や電話で詳しく伝える配慮をしています。        |                      |                                   |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の意見や要望は、意見箱の設置や内・外の苦情相談窓口の案内、家族の来訪時での会話から把握しています。課題は連絡帳に記録し、職員の共有としています。職員は自分の家族に置き換え、課題に向けた具体策に取り組んでいます。             |                      |                                   |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 運営者は、利用者と職員の馴染みの関係に配慮していますが、職員の技術向上や、ユニット間の活性化を図るための異動が生じた場合でも、行事などでユニット間は顔馴染みであり混乱は見られません。                             |                      |                                   |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |  |   |                      |                                   |
| 10                               | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                | 運営者は、内部研修や実務指導に力を入れています。さらに、職員の経験や習熟度を基に外部研修の情報を提供し、質の向上に努めています。研修費は法人負担とし、勤務日程も調整するなど、職員の向上心に繋げています。参加後は、伝達講習で職員の共有としています。 |                      |                                   |
| 11                               | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている      | 日高管内グループホーム協議会に参加し、情報交換やほかの地域の施設見学を実施するなど、切磋琢磨しています。近隣のほかのグループホームとは、研修や見学で相互の交流があり、共にサービスの質の確保に努めています。                      |                      |                                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |      |  |   |                      |                                   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |   |                      |                                   |
| 12                               |      | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用開始以前にホームから居宅や施設を訪問し、利用者や家族の意見、要望の把握に努めています。さらに、ホームの見学も勧め、食事を共にするなど、雰囲気を感じていただき、徐々に馴染みの関係を築いています。                          |                      |                                   |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |   |                      |                                   |
| 13                               | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 職員は生活を支え合う家族としての認識のもと、利用者の視点に立ち、日々のケアサービスに取り組んでいます。職員は利用者の培ってきた経験から学びを受けたり、感謝や労りの言葉をかけていただき、さらなる技術向上に努めています。                |                      |                                   |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |  |                      |                                   |
| 14                                    | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 利用者一人ひとりの意見や要望は、日常の会話や職員間の気付きなどで把握しています。困難な場合は、生活歴や家族の情報を参考に、利用者の表情から意向を察し、確認しながらケアサービスに取り組んでいます。                            |                      |                                   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 15                                    | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 利用者、家族の意向や医療関係者の助言を踏まえ、担当職員が立てた介護計画を会議で検討し、理念に沿った利用者本位の介護計画を作成しています。   |                      |                                   |
| 16                                    | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の期間満了時に、職員全員の評価を参考に短期4ヵ月、長期8ヵ月の見直しが行なわれています。4ヵ月毎に利用者一人ひとりに沿った介護目標を立て、穏やかな暮らしが継続できる支援に努めています。状態変化時は、その都度、新たな介護計画を作成しています。 |                      |                                   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |  |                      |                                   |
| 17                                    | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 利用者や家族の要望に沿い、受診や買物、理美容院同行、利用者の家族の安否確認、利用者入院時の見舞いや洗濯支援、訪問理美容やボランティア実習生の受け入れ、独居の方への声かけなど、柔軟な支援に努めています。                         |                      |                                   |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 24時間連絡体制の協力医療機関による月2回の往診、さらに2週間毎の訪問看護師による健康管理は適切に行なわれています。各医療機関の受診も支援し、診療内容は関係者の共有としています。                          |                      |                                   |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期に向けて、ホームの対応指針を作成し、契約時に説明を行ない、利用者や家族から同意書をいただいています。看取りの経験もあり、利用者の状態変化時には関係者と話し合いの機会を持ち、利用者にとって最善の方法を検討しています。 |                      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |      |   |  |                      |                                   |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 職員は利用者を人生の先輩として敬い、排泄や入浴時は同性介助に配慮し、言動にも十分な注意を払っています。個人情報の取扱いや保管は適切に行なわれています。  |                      |                                   |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | ホームとしての一日の予定はありますが、職員は、利用者一人ひとりの性格や心身の状態を把握し、その日一日をゆったりと過ごせるよう、利用者の意向に沿って支援しています。                                  |                      |                                   |

新ひだか町 グループホーム ひまわり

| 外部評価                                 | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |  |
| 22                                   | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者の能力を活かし、野菜の下ごしらえ、配膳、後片付けを職員と一緒にしない、食事を楽しんでいます。時には、ホットプレートで食事を作るときもありますが、殆どが調理専門職員が利用者の好みを反映した献立を立て、食材の購入、調理を行ない、利用者の参加は見られません。 | ○                    | 利用者と一緒に食材を調達したり、味付けなど調理の一端を担っていただく場面提供や、時には外での食事は五感刺激に繋がりますので、今後の取り組みに期待します。 |
| 23                                   | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 週に2～3回の入浴支援をしていますが、利用者の体調や気分に応じ、入浴日や時間帯は希望に沿って対応しています。殆どの利用者が職員の支援の下、浴槽に肩まで浸かり、リラックスできる時間を楽しんでいます。                                |                      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |  |
| 24                                   | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の得意技や趣味を活かし、掃除、食事の支度や後片付け、洗濯物畳み、菜園作業、将棋、読書などで、能力を発揮しています。自作の編み物を販売していただいている利用者もいます。四季折々の行事、誕生会は、大きな楽しみごとになっています。               |                      |  |
| 25                                   | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 天候や利用者の心身の状態に合わせ、ホーム周辺の散歩や買物、さらにホーム敷地内でお茶を飲んだり、合唱や日光浴を楽しんでいます。外出行事やドライブは気晴らしに繋がりに、今後も外出の機会を増やす支援を予定しています。                         |                      |  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |      |   |   |                      |  |
| 26                                   | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 防犯上、夜間のみ午後8時から翌朝6時まで施錠しています。日中は、利用者の外出の意向を察知し、職員の注意深い見守りの下、自由に外出できる体制が整っています。さらに、靴箱にセンサーを付け、不意の外出に備えています。                         |                      |  |

新ひだか町 グループホーム ひまわり

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| 27                               | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 年2回昼夜想定避難訓練を実施し、災害時に備え、救命救急訓練、緊急時の連絡網やマニュアル作成、防犯グッズの整備、さらに隣接の診療所や薬局の方々にも協力をお願いしていますが、町内会の協力体制は十分とは言えず、継続しての取り組みとしています。 | ○                    | 地域の方々へ災害時の協力を要請していますが、同時にあらゆる場面（地震、風水害、夜間や寒冷期の屋内避難訓練場所の確保）を想定し、避難訓練や緊急連絡網に地域の方々の参加をいただくなど、相互の協力体制の確立に期待します。 |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |      |   |  |                      |   |
| 28                               | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 利用者一人ひとりの食事形態に応じて、味付けの工夫やきざみ食、流動食を提供しています。一日の食事量や水分量はチェック表に記入し、職員の共有としています。ゼリーや好みの飲物で不足分を補っています。                       |                      |   |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>   |      |   |  |                      |   |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>            |      |   |  |                      |   |
| 29                               | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 木材をふんだんに取り入れ、採光や換気にも配慮したホームは、清潔感と開放感に溢れています。季節の花々や行事毎の飾りが彩りを添えているサンルーム様式のホールは、利用者の憩いの場となっています。                         |                      |   |
| 30                               | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 掃除の行き届いた居室には、利用者の馴染みの家具や調度品、趣味の物が配置されています。日用品はクローゼットに収納され、利用者は自分の部屋で思い思いに寛いでいます。                                       |                      |   |

※  は、重点項目。